



平成三十年八月五日  
 皇紀2678年  
 (西暦2018年)  
 第171号  
 発行：淀姫神社社務所  
 〒859-4501  
 松浦市志佐町浦免632  
 TEL・FAX 0956-72-0653

異常なまでの高温状態です

## 熱中症には嚴重警戒

これを書いているのは八月五日です。

テレビなどでは、連日ニュースのトップはこの記録的猛暑についての話題ですね。全国各地で気温が40℃を上回る日があり、明治から始まった気象観測史上の記録を塗り替えています。気象庁ではこの暑さを「災害級」として、熱中症などに嚴重警戒するよう呼びかけています。

ここ松浦も例外ではありません。過去の記録を見ると、他の地域と比べてさほど気温上昇はしてないよう見えますが、コンクリートやアスファルトによる地面・道路の舗装が昔より格段に多くなっています。そこからの放射熱なども加味すると、おそらく体感ではデータ以上に暑くなっていると思われます。

過去に例を見ない暑さは、これからまだ長く続く恐れがあります。気象庁の季節予報などでも、高温傾向が続く確率が高い予想となっています。皆さまにおかれましては、体調管理などには十分お気をつけください。

## 神社うんちく帖

さて、今回もまた『古事記』に則り、伊耶那岐と伊耶那美の神話についてです。

### ◆伊耶那美の死

穀物の神である大気都比売の次に生まれたのが、炎の神「火之迦具土神（ほのかぐつちのかみ）」です。この神さまを生んだ際、伊耶那岐神は大火傷を負い、病に伏せりました。

それでも伊耶那美神は神々を生み続けました。鉦山の神、土器の神、水の神、そして生産の力となる神、食べ物司る「豊宇氣毘賣神（とようけびめのかみ・豊受大神）」が生まれました。これらの神々を生んでのち、伊耶那美神はついに「神避り（かむさり・神の死）」を迎え、「黄泉國（よみのくに・いわゆる死後の世界・幽界）」へと去られました。

ここまで伊耶那岐神と伊耶那美神が生んだのは、十四の島と三十五柱の神々です。

### ◆迦具土の死

さて、妻である伊耶那美神の死を嘆き悲しんだ伊耶那岐神は涙から「泣沢女神（なきさわめのかみ）」を生みます。そしてその亡骸を比婆の山に葬りました。腰に佩いた「十拳劔（とつかのつるぎ）」で伊耶那美神の死をもたらし

迦具土神の首を斬り刎ねました。

このとき、十拳劔の剣先からしたたった迦具土の血が神聖な岩に飛び散り、岩の神三柱が生まれ、剣の根元から岩に落ちた血からは火の神二柱と雷神「建御雷之男神（たけみかづちのをのかみ）」などが生まれ、剣の柄からしたたった血から水の神と溪谷の神二柱の神が生まれました。また迦具土の体からは山の神八柱が生まれました。

### ◆ちよつと脱線「愛宕さま」

伊耶那岐神によって殺された火之迦具土という神さま。この神さまは「秋葉さま」「愛宕さま」という名前でも知られています。

どちらも「火伏（ひぶせ）」の神とされ、多くの崇敬を集めています。寛政六年（1794年）の正月晦日に、この志佐町浦地区は大火に見舞われ、ことごとく焼け失せました。

その大火ののち、

志佐の町を一望できる場所に愛宕さまが祀られ、愛宕神社の鎮火祭である4月24日に、毎年お祭りが齋行されています。



淀姫神社インターネット公式サイト「淀姫神社WEB」 <http://yodohimejinja.com/>

各種最新情報・blog「淀姫日記」にて「お祭りレポート」などなど、内容盛りだくさんでお送りしています。ぜひともチェックしてくださいませ。スマートフォン・タブレットなどにも完全対応しています。

